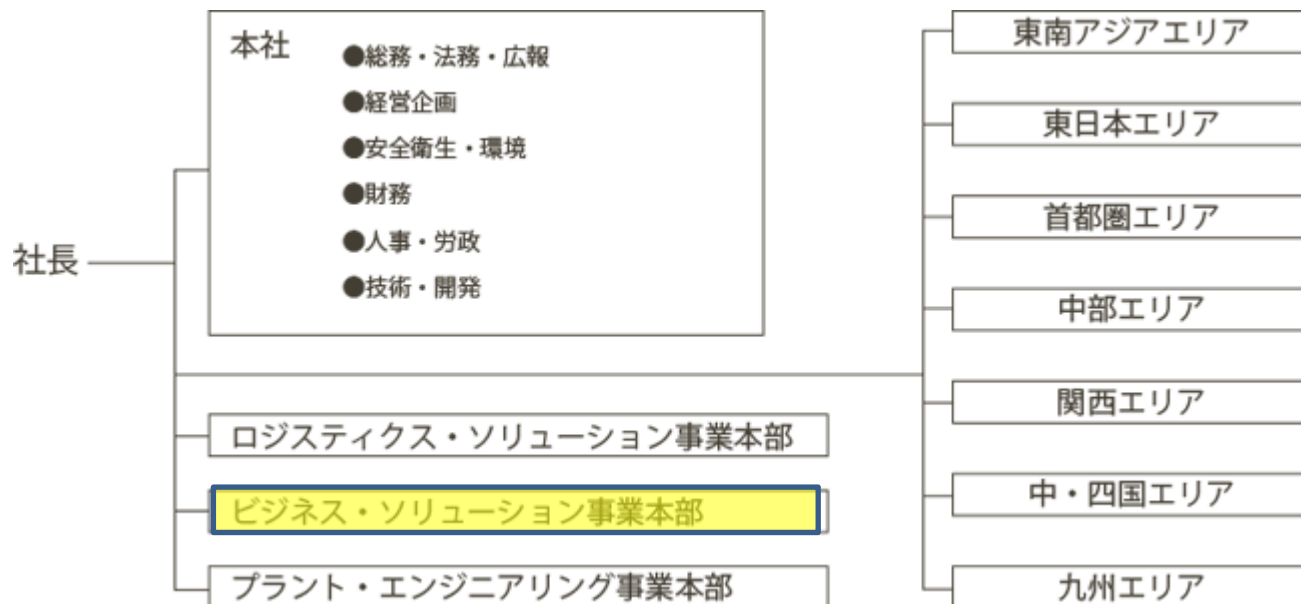


SANKYU

創立 大正7年(1918)10月1日
資本金 286億19百万円
事業所 国内支店39 / 国内会社 44 / 海外現地法人38 / 駐在員事務所1
従業員 10,785名〔連結30,410名〕(2014年3月現在)

組織図

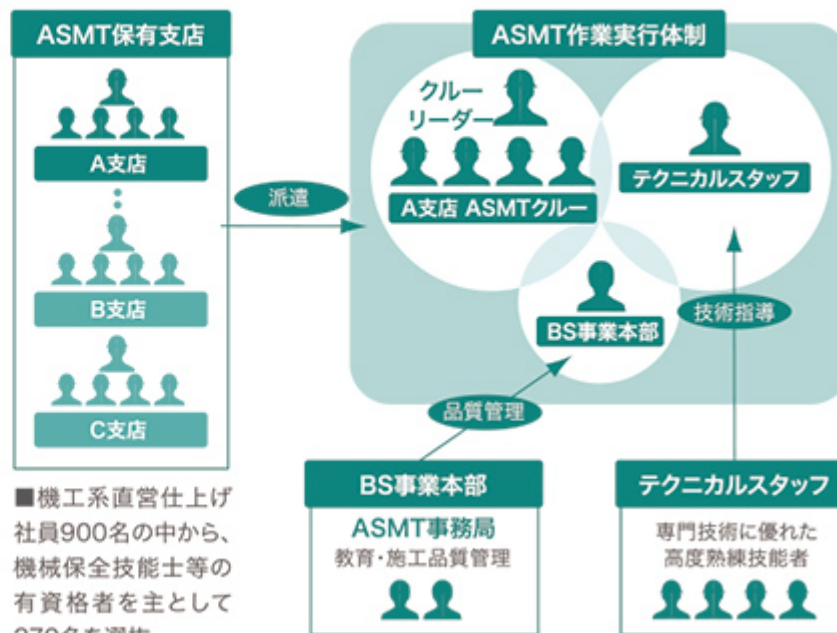


「仕上げ」のプロ精鋭部隊“ASMT(アスメット)”を全国に派遣し 高度なメンテナンスサービスを機動的に行います。

現場で鍛えあげられた設備仕上げ作業の高技能保持者で構成するASMT、お客様の重要設備、設定設備(大型減速機、ウェルダ、シャー、サイジングプレス等)のメンテナンスサービスを高レベルの安全・品質・工程で提供します。



現場では専門技術に優れ経験豊富なテクニカルスタッフが技術指導や作業品質を管理します。



■機工系直営仕上げ社員900名の中から、機械保全技能士等の有資格者を主として270名を選抜

経験豊富なテクニカルスタッフが高いレベルで技術指導や作業品質の管理を行います。また、ASMT事務局による専門教育、安全教育、OJT、クルー評価(技能度・モラル・安全処置)を行い、積極的にクルーの技能向上を図っています。

現地機械加工 SPS Sankyū Portable machining Service

お客さまの設備に工作機械を取付け
現地で機械加工を行うことにより、
様々なメリットがご提供できます。

工期の大幅短縮 コストダウン 高精度の機械加工

- ①現地調査・測定調査
- ②加工機械設計・製作
- ③性能事前確認
- ④現地搬入・取付
- ⑤現地機械加工・測定
- ⑥施工記録作成
- ⑦アフターフォロー



ポータブルフェーサー加工機



ポータブルボーリング加工機

ロールグラインダーメンテナンス

製鉄、製紙、アルミ用各種ロールを研磨する
ロールグラインダーのトータルサービスを
国内・海外でご提供します。

- ①精度更新、最新NC化、新機能付加、
自動化等のメンテナンス
- ②静圧調整、摺動面・回転部の高度な摺り合せ等の
メンテナンスサービス
- ③ロール探傷装置KARCS、研削液サイクロン浄化装置の
取付から、据付・移設



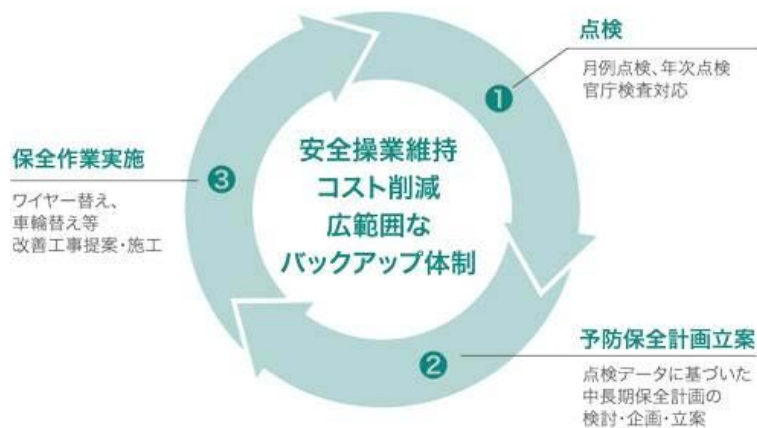
ロールグラインダー



機械整備

クレーンメンテナンス

豊富な経験とノウハウを持つ整備のプロ集団が確かなクレーンメンテナンスを実現します。



レードルクレーン



港湾クレーン

安全操業と効率化を両立させる山九の3PM。質の高い提案型メンテナンスを国内外で提供します。

国内外の豊富な施工実績

多岐にわたるメンテナンスノウハウのデータベース化による技術の維持向上。

エンジニアリング

メンテナンスデータの設計へのフィードバック。安全・品質・技能・技術の教育訓練体系の完備。

山九のネットワークによる施工支援

緊急対応力、熟練工の動員力、最適な施工体制。

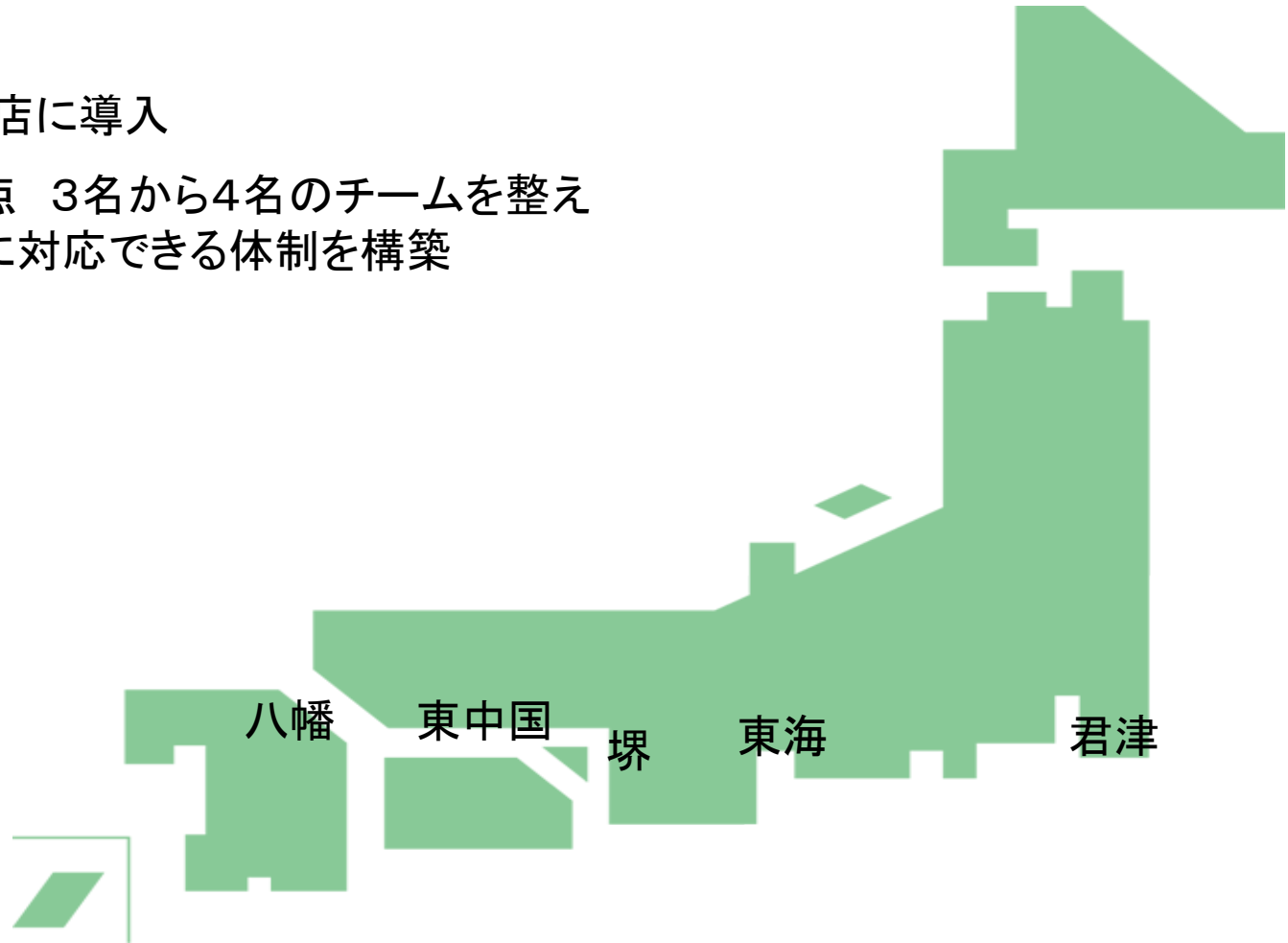
複数部門との連携による技術支援

設備診断・EPC・溶接技術・回転機技術を柱とした技術支援。

更に「短納期」「低価格」「高品質」を、実現していく為に3D測定を導入

各エリアの支店に導入

各拠点 3名から4名のチームを整え
迅速に対応できる体制を構築



実績一覧

配管更新前の既設図面化	製鐵所構内	足場設置箇所事前測定
現地加工機据付	製鐵所構内	現地加工機設置箇所事前測定
プレス機メンテナンス前測定	プレス工場	改修前現状測定
軌条面の減肉具合の測定	配管工場	現地加工のための基準値測定
資材搬入のための重機計画	施設内道路	重機通行箇所事前測定
高所配管の真円度測定	製鐵所構内	配管追加のための事前測定
遠距離にある軸心の平行度測定	コンベア工場	設備改修のための事前測定
配管更新のための中心位置の測定	工場設備	設備更新のための事前測定
現状設備全体のCAD化	工場設備	現状把握のための測定
高所50mコンベア改修前測定	発電所構内	設備破損に伴う現状測定
設備使用に伴う変形度測定	製鐵所構内	定期測定
軌条間の寸法測定	製鐵所構内	摩耗具合測定
壁面の倒れ具合測定	改修前現状測定	改修設備設置のための事前租口絵
支柱軸の直進性測定	製鐵所構内	加工基準測定
コンベア設備現状測定	加工工場	図面作成のための測定
軌条上部配管新設のための測定	線路上	配管ルート考案のため
設備吊上げのための重機計画	製鐵所構内	重機可動範囲調査のための測定

その他100件以上の実績



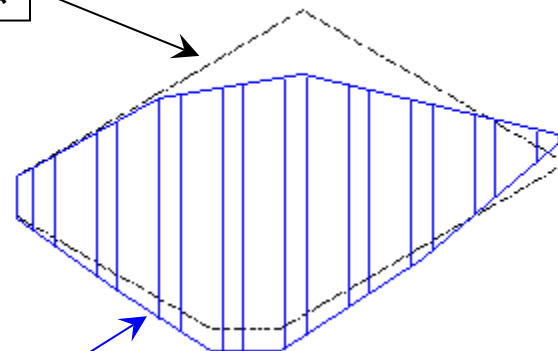
熱風がながれる箇所の蓋が、
送風時の熱膨張により、歪んでしまう為
トラブルが発生。

3次元測定データ



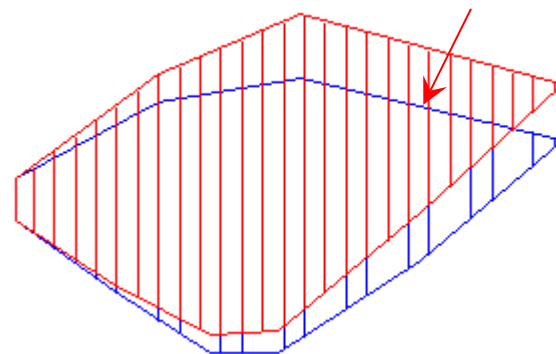
マンホール変位図

図面寸法



休風時マンホール変位図

送風時マンホール変位図



休風時と送風時の変位を測定する事で、
改善方法の検討、別箇所への新設時に活用。

今後の展望

- ・オール山九での活用をめざし、土木チームでの活用

- ・定期測定による、メンテナンス時期の予測を行い
トラブル発生前に改修方法の提案。

御清聴

ありがとうございました。